



～ 川崎市庁内SDGs取組の進め方 ～

Kawasaki City SDGs Guidance (要点抜粋版)

KAWASAKI CITY × SDGs use to...



PROMOTION



IMPROVEMENT



COLLABORATION

2023年8月
川崎市



序章・基本的事項

抜粋

(1) 本「進め方」の目的

- 「Kawasaki City SDGs Guidance ～ 川崎市市内SDGs取組の進め方～（以下「進め方）」は、市職員のSDGsの向き合い方や業務への組み込み方などの「考え方」や「具体例」を示したものであり、**職員の業務遂行の手引書**となるものです。

(2) 「川崎市SDGs推進方針」と「川崎市総合計画」の統合

- 本市は、平成31（2019）年2月に「川崎市SDGs推進方針」を策定し、その後「**川崎市総合計画第3期実施計画（以下「総合計画」）（R4.3策定）**」と統合しました。
- 川崎市のSDGs取組（以下「**かわさきSDGs**」）は、**総合計画のすべての事務事業をSDGsのゴールと関連づける**とともに、**総合計画と一体的に進行管理を行います**。

(3) SDGsの取組期間

- 2016年から2030年までの15年間



高津区宋長周辺（2020年SDGsトレインポスター）

本「進め方」の位置づけ

本「進め方」の位置づけ

- 本市の目指すSDGsの達成は、総合計画の目標達成に沿って成り立つものとして整理しており、**私たち職員は日々の所管事務事業に取り組むに当たり、SDGsの本質を理解したうえで進めることが必要**です。
- このため、本「進め方」は「職員がSDGsの本質を理解・意識すること」及び「職員がSDGsをツールとして使いこなすこと」を促進するための、**考え方や具体的な事例等を示した「手引書（目安・ツール）」の位置づけ**として作成するものです。
- **次章（第1章）以降で、SDGsの本質と使い方**について示していきます。

「川崎市総合計画（第3期）」は、かわさきSDGsの達成に直結する「**行政計画**」



「川崎市市内SDGs取組の進め方」は、職員がSDGsの本質を理解し、SDGsをツールとして使いこなすための「**手引書**」



～ SDGsは「コンパス」「共通言語」「エンジン」の役割 ～

第1章 「SDGsの本質と使い方」を知る **抜粋**



本編では次の内容も掲載

「多角的な目線でみたSDGs」

- ・行政目線でみたSDGs
- ・市民目線でみたSDGs
- ・学校教育目線でみたSDGs
- ・経営・投資目線でみたSDGs
- ・中小企業経営目線でみたSDGs

SDGsは2023年から後半フェーズ

2023年からSDGsは**後半フェーズ**であり**加速期**への**移行段階**となります*。

イメージ図（※川崎市作成）



*「Global Sustainable Development Report 2023(Advance, Unedited Version 14 June 2023) (United Nations 2023.6)」



外国人市民代表者会議（2021年SDGsトレインポスター）

1 「SDGs」の本質と使い方を考える

(1) SDGsは「コンパス」である

- SDGsは「**誰一人取り残さない**」をキーワードにしており、私たち人類が持続可能な世界を目指すために**必要な要素がすべて詰まっています**。
- このため、私たち行政や企業が事業を進めるうえで考慮しなくてはならないことが、「**17のゴール**」と「**169のターゲット**」という**具体的な形で明確に示されています**。
- SDGsの17のゴールと169のターゲットを踏まえながら、**既存事業の見直しや新規事業を検討**することで、当該事業がSDGsの何番のゴールにつながっていて、どうすれば他のゴール・ターゲットにつなげることができるのかなど、**事業の改善・連携が進めやすくなります**※。

SDGsは職員が考慮しなくてはならないことを明示してくれる**コンパス**として機能し、**事業の改善・連携**などに役立ちます



出展：SDGs Compass (SDGsの企業行動指針 - GRI・UNGC・WBCSD)

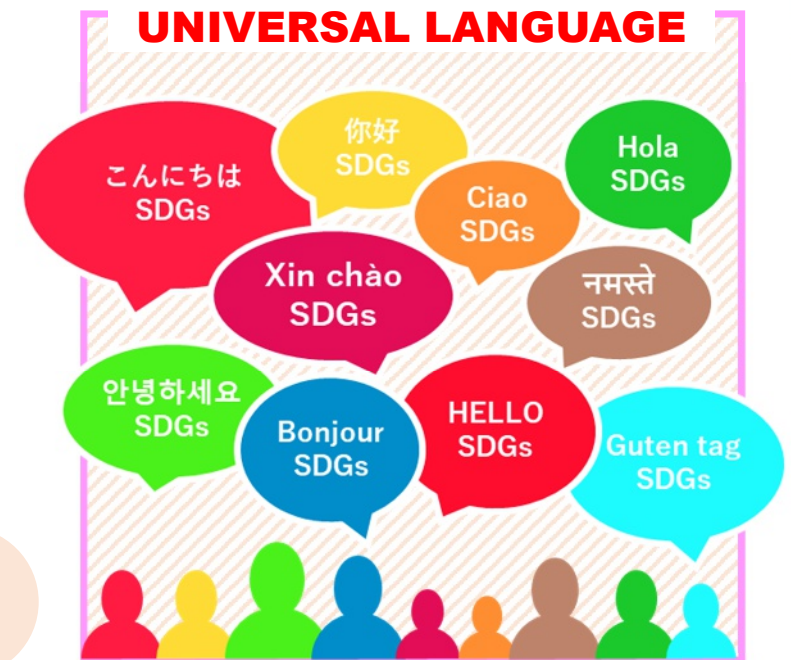
※ SDGs Compass (SDGsの企業行動指針 - GRI・UNGC・WBCSD)

1 「SDGs」の本質と使い方を考える

(2) SDGsは「共通言語」である

- SDGsは地球規模の課題を解決するものとして、先進国・途上国を問わず**世界中の国々**で取り組まれており、政府、地方自治体、企業、NPO団体、市民といった**あらゆる主体が**SDGsに取り組んでいます。
- 例えば、本市が脱炭素化（ゴール13関連）の取組を市内外に発表・発信した場合、それがゴール13の解決を図るための取組であることは、市民や市内企業だけでなく、他地域、さらには他国にも**同様の認識**で世界共通の言語として伝わります。
- **SDGsは今や投資、保険、銀行分野における重要な判断基準**となっており、「どれだけ具体性を持ってSDGsに取り組んでいるか」は**世界中が注目**しています。

SDGsという**共通言語***を使って自分たちの業務を発信することで、効果的に**PR**することができます



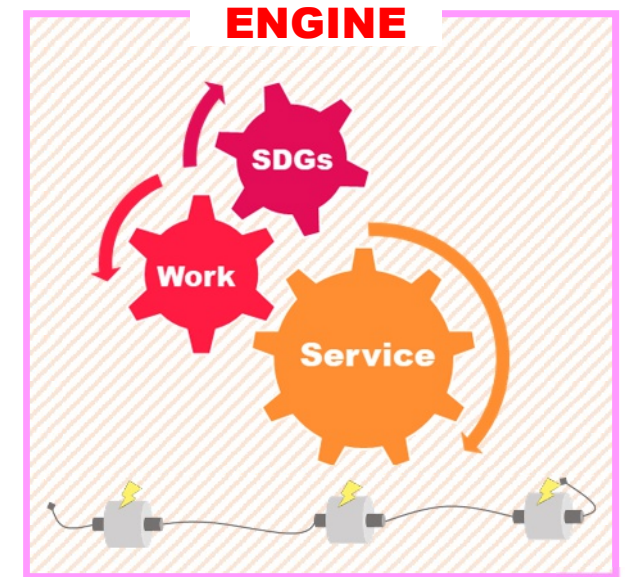
* 「特集 SDGs（持続可能な開発目標）と科学技術イノベーションの推進」（文部科学省 2019.9）

1 「SDGs」の本質と使い方を考える

(3) SDGsは「エンジン」である

- 前述のとおり、SDGsは「コンパス」と「共通言語」の性質を持っており、SDGsは国内外において幅広い分野の指針となり、またSDGsに資する取組に対する理解が進みやすくなっています。
- 行政や企業の進める取組がSDGsに資する取組であるならば、（経費・人的リソースの検討は別途必要ですが）**当該事業の正当性の説明がしやすく、庁内及び庁外の合意形成を図りやすくなります。**
- また、行政施策の中には「脱炭素」「地域包括ケア」「パラムーブメント」など、**全庁に影響する分野**は複数ありますが、**SDGsはそのすべての要素を包括的に含んでいるため、全庁の事業をSDGsとして横串を指すことで、事業の統合・連携が図られやすくなります。**
- このように、**SDGsは地方創生の原動力（エンジン）**として、事業の一層の充実・深化につなげることができます*。

SDGsは**事業の検討加速化**や、**事業の統合・連携**を進めやすくする**エンジン**として機能します



* 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改訂版）」（内閣府 2020.7）

2 「SDGs」を「かわさきSDGs」としてカスタマイズする

(1) SDGsは「カスタマイズ」できる

- **SDGsは「17のロゴマーク」をちらしや資料に貼るだけの単なる「アイコン」ではありません。**

SDGsは、上手く活用することで自分たちの仕事をより良いものにグレードアップさせ、地域課題の解決に繋げることができる、非常に**有用なツール**としても機能します。

- そして、グローバルな課題の解決のための枠組みであるSDGsを、地域レベルの課題解決に適用するためには「**ローカライズ**」と呼ばれる翻訳作業が必要であるとされています。[※]
(本市は、SDGs推進方針を総合計画に統合し「かわさきSDGs」として取り組んでいます)









SDGsはローカライズが必要です。次章（第2章）以降では、SDGsを「かわさきSDGs」として**カスタマイズ**し、SDGsを「**プロモーションツール**」「**改善ツール**」「**連携ツール**」として**活用**していくための、具体的な方法や先進事例等を示していきます。

※ 「SDGsの実践 自治体・地域活性化編」（村上周三 2019.4）

2 「SDGs」を「かわさきSDGs」としてカスタマイズする

(2) 「かわさきSDGs」の段階の整理

	段階	状態	川崎市の状況
<p>少し前 (2020年頃)</p>	<p>第1段階</p> 	<p>SDGsの存在を認知・理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの職員はSDGsの存在を認知し、SDGsの定義や17ゴールのロゴマーク等をなんとなく把握。  <p>ロゴマークくらいなら知ってるよ</p>
<p>多くの職員の 現状</p>	<p>第2段階</p> 	<p>SDGsを業務に位置づける</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画（3期）に全事務事業をSDGs取組と位置づけ。 全職員がSDGs取組を実施。  <p>自分の業務はSDGs取組なんだね</p>
<p>本「進め方」の 狙い</p>	<p>第3段階</p> 	<p>SDGsの本質を理解しツールとして活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> SDGsを第3段階（本質の理解と活用）まで取り組んでいる部署・職員はそれほど多くない状況。  <p>第2章へ</p>

第2章 庁内事務事業をSDGs視点でプロモーションする

抜粋

(1) 「SDGs×シティプロモーション」

- SDGsは共通言語であり、またサステナビリティを重視する考えが**世界中で認識・注目**されています*。
- 事業推進にあたり**SDGsを意識**することで、それが持続可能な社会を目指した事業であることのPRになり、また、SDGsという共通言語を用いることで、その事業は**国内外のSDGs関心層に魅力的に映り、市内外の様々な主体の注目・関心**を集めやすくなります。

(2) 単に広報ちらしにSDGsアイコンを貼るというだけではありません

- SDGsを使ったプロモーションというと、多くの職員が**SDGsの17ゴールのアイコンを広報ちらし等に貼り付ける**ことを思い浮かべるかもしれません。
- 確かにそれも1つのPR手段ではありますが、それ以外にも例えば、「**文脈中にSDGsを明示する**」「**事業計画・内容にSDGsの考え方を明示する**」など、様々な方法が考えられます。

* 「2022経済展望とサステイナブルな資本主義の道筋」(経団連会長スピーチ 2021.12)



多摩川周辺 (2020年SDGsトレインポスター)

2 SDGsを「インナープロモーション」として活用する

(1) 「インナープロモーション」とは

- 「**インナープロモーション**」とは、組織のブランド価値や理念について職員への理解醸成を図ることで、**職員の意思統一**や**意欲向上**を図るための**庁内向けのプロモーション活動**のことです。組織の方針と職員の思いが同じ方向に向くことで、**仕事の質と効率の向上につながります**。

本編では
GOOD事例
も掲載

(2) 「SDGs×インナープロモーション」

- 本「**進め方**」は**インナープロモーションの一環**でもあり、「かわさきSDGs」という形で職員の**意思統一**を図るとともに、多くの職員に**仕事の魅力**を感じていただき、**やる気UP**につなげていくことを目指しています。
- 「かわさきSDGs」の職員意識醸成については、引き続き、関係部署と連携しながら**様々な形**で進めていきます。



令和3年度新任部長研修「市長と部長との対話」 テーマ「SDGs」

- ・新任部長研修では、市長との対話について毎年異なる対話のテーマを決めていますが、令和3年度は「SDGs」をテーマに行いました。
- ・研修の中で各部長職に所管事業が該当するSDGsのうち、目指すゴールを1つ決めてもらい、ゴールに向かって取り組む内容、部長職としてチャレンジすることを発表してもらい、市長からコメントをもらいました。

～ SDGsを使って「こうすればもっと良くなる」を实践 ～

第3章 庁内事務事業をSDGs視点で改善・連携する

抜粋

(1) 「SDGs」を使って自分の仕事を振り返る

- 所管業務を、SDGsのゴール・ターゲットに照らし振り返り**日常的に意識**することが、**新たな気付き**につながります。

(2) 「SDGsウォッシュ」ではないことを確認する

- 「SDGsウォッシュ」とは、**うわべだけ、過剰アピール、印象操作**などをSDGsで行うことを示します※。本市がSDGsをPR材料として活用する際には、「SDGsウォッシュ」**でないことを振り返る必要があります**。
- 例えば、「**社会**」に携わる部署が、「**経済**」と「**環境**」の側面に**全く配慮しない事業計画**を進めていては持続的な取組になりにくいですし、**内外から「SDGsウォッシュ」と評価されてしまうリスク**もあります。



※ 「SDGs Communication Guide」 (株式会社電通 SDGsコミュニケーションガイド作成委員会 2018.6)

川崎市立東小倉小学校 (2021年SDGsトレインポスター)

1 ありがちな例と良い例の比較

自分たちの仕事が、**うわべだけのSDGs取組（SDGsウォッシュ）**につながっていないか、再確認しよう

本編では
GOOD事例も掲載

ありがちな例



うちの部署はゴール3（健康と福祉）を頑張ってます。**他のゴールは他の部署でやってるから問題ないですよ**ね？

例えば、所管の健康福祉関連の施設が、現在大量にCO₂を消費するような施設であったならそれは**持続可能な施設**とは言えません（ゴール13関連）。また、**新たな雇用や働きがいを生むような事業検討**も大事です（ゴール8,9関連）。



良い例



うちの部署はゴール3（健康と福祉）を頑張っていて、これまで施設で出たごみの処理方法は焼却処分でしたが、**関係部署と連携して再資源化処理に切り替える**べく検討しています。
さらに中間処理工程で**障害者雇用の活用**も考えています。

複数のSDGsゴールを意識している点や、SDGsを使って**関係部署との事業連携につなげている**点がすごくいいね！



(参考) 他都市事例

Column

参考事例 (京都府亀岡市の庁内研修「SDGsの視点で事務事業にもう一工夫」) (R5.3)

- 京都府亀岡市では、新任係長向けにSDGsに関する研修を実施し、**SDGsの観点から事務事業の改善案を形成**。

- ・ 対象者 : すべての課の全係長
- ・ 実施期間 : 2022年12月～2023年3月 (約4ヶ月間)
- ・ 実施形式 : オンデマンド形式の研修+ワークシートの作成・提出

STEP1
オンデマンド学習



約60分間

STEP2
課内での議論



約30分間

STEP3
SDGsの観点から改善案を形成



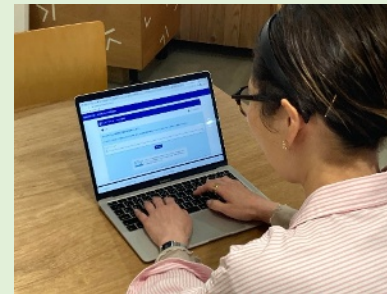
+

=



<実現事例: 「空き家・空き地バンクの運営業務」をSDGsの視点から改善>

- 2022年度に実施したSDGsの「係長研修」の一環で作成したワークシートをもとに**2023年度から業務の改善を実現** (移住定住促進事業)
- 関係部署との連携により、登録に係る申請手続きの電子フォームの整備を実現し、利用者(住民等)及び行政担当課双方のメリットがあり、さらに廃棄物削減、温室効果ガス削減等の環境負荷も低減。



利用者(住民等)



行政担当課

出典: 川崎市SDGs推進アドバイザー (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教 高木 超) 作成資料から引用

～ 「川崎市のSDGs取組はこんなにすごい」を知り、活かす ～

第4章 市内SDGsの先進事例や身近な事例を知る

抜粋

Advanced
examples
of

SDGs

本編では、区役所の取組など
さらに多くの事例を掲載



KAWASAKI
SDGs
川崎市は
SDGs未来都市です

脱炭素アクションみぞのくち 検索

車内の携帯電話のご利用マナーにご協力ください

川崎市は『みぞのくち』から
脱炭素化モデルを全国へ展開していきます
市民の皆さま、多様な事業者と連携し進めています

脱炭素アクションみぞのくち (2022年SDGsトレインポスター)

-16-

1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る①

「かわさきSDGs」はすべての職員が主役です

- 本市はすべての事務事業をSDGsゴールに関連づけており**すべての職員がSDGs取組の主役**であると考えられます。
- ここでは、その中でも**ほかの局区の職員への参考となる身近な優良事例**や、「**SDGs達成への寄与度が大きい重点事例**」を紹介します。

(1) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」①（教育委員会事務局）[身近な優良事例]

- 市立学校の**学校給食用牛乳**は、これまで使い捨てプラスチックストローを**年間約2,000万本**も使用していましたが、本市のSDGsの取組の一環として、令和5(2023)年4月より、**すべての市立学校でストローレスパック**に変更しました。
- この取組は、**児童生徒からの手紙や子どもたちが中心**となって開催SDGsの会議などにおいて、**子どもたちから提案を受けて始めた**ものであり、**雪印メグミルク株式会社等との連携**によって実現しました。



「子どもたち」の「身近な提案」が具体的な取組につながった事例だね。**全ての市立学校**で一斉に始まるから、市内に子どもを持つ**多くの世帯へのSDGs意識の広がり**が期待できるね。

1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る②



(2) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」② (環境局) [身近な優良事例]

- **環境局**では、優れた省エネ・CO₂削減取組等を行っている事業者・団体等を表彰する「**スマートライフスタイル大賞**」の取組を実施しており、令和4（2022）年の第11回は14団体を表彰しました。
- 大賞を受賞した「**特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘**」では、おむつの交換時に必要となるビニール袋の代わりに新聞紙を使用し、12年間で250万枚の**レジ袋を削減（CO₂削減に貢献）**しました。
 （同時に脱炭素チャレンジカップ2023：**環境大臣賞**金賞受賞）
- 新聞は**近所、家族、ボランティア、新聞販売店**の力を借り、新聞紙の折り畳み作業等は**入居者（高齢者）の「お仕事」**になっており、**入居者のやりがい**にも繋がっています。
- また、「**SDGs新聞**」や入居者の御家族に向けたお便りを発行し、みどりの丘でのSDGsの取組や**家庭でもできる取組**を発信しています。



第11回スマートライフスタイル大賞（特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘）

もとは省エネ表彰制度なのに「**複数のSDGs** **ゴールにつながる**」
 「**身近な**」取組を表彰していて、とても参考になるね。

1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る③

(3) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」③ (臨海部国際戦略本部) [寄与度が大きい重点事例]

- 本市では**政令市で最も多くの温室効果ガスを排出**している状況のなか、**臨海部国際戦略本部**は、令和4(2022)年3月に「**川崎カーボンニュートラルコンビナート構想**」を策定し、川崎臨海部のカーボンニュートラル化に向けた取組を推進しています。
- パイプラインを活用した水素サプライチェーンの事業性調査や羽田空港及び周辺地域における水素利用の調査など、川崎臨海部企業等と協働し、国のプロジェクトへ参画しています。
- **令和5(2023)年3月**には、川崎臨海部がグリーンイノベーション基金事業の一環として、**総事業費3,000億円規模**の液化水素サプライチェーン実証の**受入地に選定**され、**今後、商用規模での国際的な水素サプライチェーンの構築が期待**されます。
- こうした取組を通じて、**日本全体のカーボンニュートラル化に大きく寄与**します。



川崎臨海部のカーボンニュートラル化の成否が**日本のカーボンニュートラルの鍵を握っている**。
日本の**経済・社会・環境に大きく影響**する**重要プロジェクト**だね



1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る④

(4) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」④ (平間小学校) [寄与度が大きい重点事例]



- 令和5(2023)年3月、**平間小学校**の5年生が「**未来の多摩川**」をテーマとして、平間銀座商店街の空き店舗の壁に、**壁画アート**を描きました。
- 「**地域を巻き込むSDGsアクション**」のひとつとして行われたこのイベントは、**平間銀座商店街**や壁画アートを制作している団体「**BEHIND THE WALL**」など、まちづくりに関わる**多くの人の協力のもと**に行われました。
- **SDGs×地域×文化芸術**の観点から、みんなで住み続けられる素晴らしいまちづくりを進めていきます。

文化芸術の方面で、小学校、商店街、若者団体など**いろいろな人が関わりあいながら**、未来の川崎のために取り組んでいるね。



平間発！未来創造プロジェクト

～より豊かな未来を願い、みんなで「楽しい多摩川」を描こう！～
川崎ガサガサ探検隊 ミライの多摩川を描く

第5章 かわさきSDGsのゴールに向けて

抜粋

(1) かわさきSDGsの推進体制

- 全庁的なSDGsの推進にあたり、**川崎市持続可能な開発目標(SDGs)推進本部**を中心に、各局室区における取組の協力と関係部署相互の連携を推進します。

(2) かわさきSDGsの進行管理

- 総合計画に基づく施策・事務事業を通じて行うため、**進行管理においては、総合計画における進行管理と一体的に実施**します。

(3) 本「進め方」のアップデート

- SDGsは2023年から後半フェーズに移行し、今後、取り巻く環境の大きな変化、加速が見込まれることを踏まえ、**本「進め方」は年1回程度を目安にアップデート**を行います。

※ 本「進め方」の作成にあたり、**川崎市SDGs推進アドバイザー**（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教 高木 超）及び**川崎市SDGsプラットフォームコアメンバー**による助言・アドバイスをいただきました。

本編では「附属資料」として川崎市SDGsプラットフォームの取組事例なども紹介しています



1960年代の川崎臨海部



現在の川崎臨海部



SDGs未来都市授賞式



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



かわさきSDGsは、川崎市の未来のための取組です。

2023年以降の後半フェーズでは、すべての職員が当たり前
SDGsのことを意識して業務に取り組んでいるような状態を目指し、
全力で取り組んでいきます。



第1回かわさきSDGsパートナー